

## PICC（末梢静脈挿入式中心静脈カテーテル）の固定方法

3M™ テガダーム™ コンフォート フィルム ドレッシング1688を使用  
Argyle™ PICCキット（60cmタイプ）正中皮静脈から挿入・ループ固定

### 3つのポイント

- カテーテル刺入部位にフィルム部分を合わせる。
- フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させる。
- フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付する。



動画(使用方法)のキャプチャー画像を掲載した資料です。  
動画の視聴とあわせてご活用ください。

動画URL <http://go.3M.com/4yva> (再生時間:2分38秒)



### 貼り方



**1** 付属の仮止めテープでカテーテルを固定します。



**2** カテーテルをソフトウイングの溝にはめ込み、フィクスチャをソフトウイングの上にかぶせ、指で挟むように装着します。



**3** フィクスチャの上から付属の固定用テープで固定し、仮止めテープを剥がします。



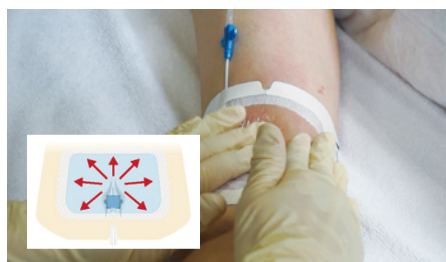
**4** ライナー紙を剥がし粘着面を出します。粘着剤のない部分を持ち、カテーテル刺入部位にフィルム部分を合わせます。



**5** フィルムの上からカテーテルやフィクスチャ周囲をつまみ、よく密着させます。固定力を上げるために必ず実施してください。



**6** カテーテルをドレッシング内でループさせ、分岐部をドレッシング材から出すように配置します。ループは緩やかで、肘関節の中心部分を避けるように注意下さい。



**7** フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に空気を押し出しながら貼付します。



**8** 周囲をしっかり密着させ、全体を貼付した後、周囲部分を押しえながら、ゆっくりとフレーム部分を剥がします。



**9** 付属の固定用テープの切り込みを、カテーテルの下からかみ合わせるように貼付します。



**10** 付属の記録用ラベルに日付などを記入して、観察の妨げにならない位置に貼付します。



**11** ドレッシング材からでているカテーテルを、3M™ マルチポア™ 高通気性撥水テープEX 2.5cm幅×約5cm (適宜調整) で分岐部まで固定します。



**12** 分岐部の下にテープを貼付した後(サイズ:2.5cm幅×約2.5xm:適宜調整)、分岐部の上からテープで固定します(サイズ:2.5xm×約7.5cm:適宜調整)。



**13** 安定した粘着力を得るために、全体を皮膚に圧着します。

## 剥がし方



**1** 補強のテープ類、記録用ラベル、固定用テープを剥がします。  
手袋を装着した指の腹でなでるようにすると剥がしやすくなります。



**2** 皮膚やカテーテルを押さえながら、フィルムを約180度に折り返してゆっくりと剥がします。

※本資料は使用方法の一例であり、ドレッシング材およびカテーテル等の添付文書や取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景および状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください

一般的名称：末梢静脈挿入式中心静脈用カテーテル  
販売名：PICC キット  
医療機器承認番号：21900BZX00862000  
クラス分類：IV 高度管理医療機器

一般医療機器 救急絆創膏(カテーテル被覆・保護材)  
届出番号：13B1X10109000233  
販売名：テガダーム コンフォート フィルム ドレッシング

※Argyleは、Cardinal Healthの商標です。  
※3M、テガダーム、マルチポアは3M社の商標です。

**3M**

スリーエム ジャパン株式会社

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.  
© 3M 2021. All Rights Reserved.  
CAPT-187-A(1221)IT

2021年12月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-011-321**

9:00～17:00 / 月～金 (土日祝年末年始は除く)